

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	城山介護老人保健施設	所管課 外線番号	高齢福祉課 0263-34-3213		
所在地	松本市大字蟻ヶ崎2132番地	設置年月	平成10年4月		
施設設置目的	国立松本城山病院廃止後の跡地利用として、高齢者が安心して自立した生活ができる地域づくりをするため、医療との連携を図りつつ、要介護老人の自宅・地域への復帰を目指す為、介護老人保健施設を設置した。				
施設概要・設備	延床面積5,421㎡、居室延面積1,327㎡、RC造一部S造 2階建 療養室、談話室、食堂、浴室、レクリエーションルーム他、 城山デイサービスセンター併設				
指定管理者名（選定方式）	（一社）松本市医師会 （非公募 特命指定）				
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日				
指定管理者の 主な業務	施設管理運営（施設サービス計画に基づき、看護、医学的管理下での介護、機能訓練等の必要な医療、日常生活の世話をを行い、在宅生活への復帰を目指す。また、他に介護予防を含む通所リハビリテーション、短期入所を行っている。）				
利用料金制の導入	あり 利用料金制（独立採算）				
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比（%）	対前年比（%）
	入所延べ人数	39,495	40,493	102.5%	102.5%
	通所延べ人数	5,230	4,857	92.9%	92.9%
（特記事項）平成19年3月末で城山診療所を閉鎖し、介護老人保健施設に19床増床、平成19年5月7日から入所定員119床に変更					

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（令和7年度）				市の収支			
	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算	
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	収入 (歳入)	事業収入 介護保険収入 雑収入 その他収入（自主事業）	95,000,000 559,900,000 4,350,000 2,350,000	事業収入 介護保険収入 事業外収入（雑収入） その他収入（自主事業）	100,059,711 548,128,915 16,986,066 3,349,797	指定管理者納付金 施設貸付料 行政財産目的外使用料	0 0 5,750	指定管理者納付金 施設貸付料 行政財産目的外使用料
	計	661,600,000	計	668,524,489	計	5,750	計	5,810
支出 (歳出)	人件費 事務費 事業費 負担金 減価償却費 引当金繰入	428,510,000 4,980,000 192,060,000 700,000 350,000 35,000,000	人件費 事務費 ・研修費 ・旅費交通費 等 事業費 ・委託費 ・光熱水料費 ・燃料費 等 負担金 減価償却費 引当金繰入 指定管理者納付金	424,196,921 4,095,732 ・印刷製本費 ・委託費 ・薬品消耗機材費 ・賃借料 617,775 336,296 27,801,054 0	修繕料 備品購入費 工事請負費 委託料 ・指定管理料（急変措置） ・樹木伐採、害虫防除 等	398,200 416,933 35,288,000 7,093,146 0 0	修繕料 備品購入費 工事請負費 委託料 ・倒木撤去	7,044,400 3,682,800 3,052,500 80,300 0 0
	計	661,600,000	計	668,524,489	計	43,196,279	計	13,860,000
損益		0		0	差引	-43,190,529	差引	-13,854,190

（特記事項）

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
 評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準	
A	(1.0) 高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7) 事業計画書(提案書)どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5) 事業計画書(提案書)どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分の確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0) 不適切な部分の確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
67.8

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	特定の個人、団体に有利または不利にならない管理運営に留意しており、アンケートからも問題は見られない。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	労働条件モニタリングチェック項目により確認したところ、適正な労働条件が確保されている。
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	施設内は整然と管理され避難時に支障なく、関係機関への緊急連絡網等が整備されており問題ない。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	利用者の事故を防止するため、全職員を対象とした研修等に取り組んでいる。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	個人情報保護方針を策定し、利用申請書等適切な管理が行われている。
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	情報公開等に対応できる内容である。
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	財務モニタリングチェック項目により分析した結果、損失は出ているが、健全な経営を行っている。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	迅速な対応が可能なバックアップ体制があり安心感がある。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に業務が履行されている。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	A	協力医療機関との連携協定締結により、入退院の円滑化、空床の削減に効果を発揮している。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	職員配置計画のとおり人員が配置されており、施設管理運営上は適切といえる。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	指揮系統、責任権限も明確になっており、適切といえる。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	年次有給休暇の取得状況確認、育児休業等が取得しやすい環境の整備(労働者間の意識の醸成)に取り組んでいる。
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	計画的な研修、必要な指導が適切に実施されている。
	経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	専用の会計帳簿により適切に利用料金の収受、管理経費の収支を管理しており、問題は見られない。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	第三者への委託の範囲、委託先共に適切である。
17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか		3	B	正確に作成され、期限までに提出されている。	
安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	安全対策委員会が設置され、マニュアル等の整備、職員への教育がされている。	
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	管理区域、業務範囲について、的確に把握している。定期巡回や清掃についても適切に行われている。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	施設の設置目的を理解した運営を行っている。自主事業については実施及び内容にさらなる工夫がほしい。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	事業計画書に基づき適切に事業が実施されており、問題は見られない。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	地域の住民や関係団体等との良好な関係を維持している。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	一定の広報活動の成果はあり、入所利用率は上がっている。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	A	LIFE加算等の加算を新規取得し、軌道にのせている。ケアの質の向上のための取り組みが行われている。
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	モニタリング結果において障害者、高齢者の利用に問題はない。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	A	利用者アンケートの実施、ご意見箱の設置及び記録シートにより、利用者の要望や苦情に迅速に対応するよう努めている。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	業務日誌等からセルフモニタリングの結果が確認でき問題ない。
環境への配慮	28 施設運営における環境負荷の低減に向けた具体的な目標を定め、認定取得等、その達成に向けた取組みが講じられているか	2	B	施設運営目標として定め、目標達成のための努力は認められる。	
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	A	自ら施設の清掃等を行うことで経費節減を図っている。複数の加算を新規取得し、積極的に増収に取り組んでいる。
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか(又は、利用者を確保できたか)	4	B	事業計画書通りの事業を実施しており問題ない。入所延数が増加し、収入も増加している。

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和7年9月29日 ~ 10月29日
	調査対象	入所者・通所者 134名
	調査方法	主に聞き取り可能な利用者及び身近な職員による代弁により実施
調査結果	別紙1のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	令和7年度苦情受付状況 1、松本市高齢福祉課への匿名での苦情1件・・・市からの連絡を受けて、過去の入所者の娘さんからであることが分かった。苦情内容については、施設でも把握できている内容であり、記録にも残されており施設での対応もしていた方であったが、施設が直接連絡を取り合うキーパーソンの息子さんではなく東京に住む娘さんであったためコミュニケーション不足でもあった。 2、つがやき・ささやきシートからの意見・・・5件 ①面会できなくて寂しい、県外の娘が会いたがっている(入所者) ②「あの人の運転は怖い。プレーキのかけ方やバックの仕方」(通所リハビリ利用者) ③車イストイレにしかウオシュレットが無いから増やしてほしい、今時、どの家もついているよ。(通所リハビリ利用者) ④寝たきりで特殊浴槽で入浴しているが、ゆっくり落ち着いて入りたかったのに、頭の上で職員さんたちの私語が気になって気持ちよく入れなかった。仕事中心なおしゃべりはやめてほしい。(通所リハビリ利用者) ⑤同じフロアで生活している男性入所者と世間話をしていただけなのに「ずいぶんと仲がいいんだね」という声掛けを男性職員にされた。その言い方が気持ち悪かった。変な目で見られているかと不安になった。(入所者)	

4 指定管理者による自己評価

令和7年度の 自己評価		
要望・苦情への 対応状況	別紙2のとおり	
今後の目標		

5 市(所管課)による総合評価

総合評価（4段階評価）の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】 計画書に基づいて次の事業を実施した。利用者の満足度の向上や収益の強化に向けて、さらなる工夫を期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事食・セレクト食の実施 ・インフルエンザ、肺炎球菌の予防接種事業 ・選挙における不在者投票投票 ・大学生、短期大学生、専門学校生等の実習生受託事業 <p>【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】 —</p> <p>【総合的な評価】 箱の設置、サービス利用時の感想を集約する仕組みにより、意見や要望、苦情等の速やかな把握に努めている。 感染予防対策を慎重に行いつつ、対面面会や外出の制限を緩和し、利用者や家族、外部ボランティアとの交流を増やしており、満足度の向上につなげている。入所稼働率は約4%増加し平均94.8%と改善しており、収入も増加している。物価や人件費高騰による支出増加のなかで経費削減に取り組んでおり、利用者からの評価も高い。</p>

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
74.8

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
適正

嗜好調査結果報告

R7. 9. 29～10. 29

1、普段の食事についての満足度

	1F	2F+E棟	通所リハ	合計	比率	昨年
満足	33	31	18	82	61%	52%
普通	11	27	9	47	35%	44%
不満	3	1	0	4	3%	3%
不明	1	0	0	1	1%	1%
合計	48	59	27	134	100%	-

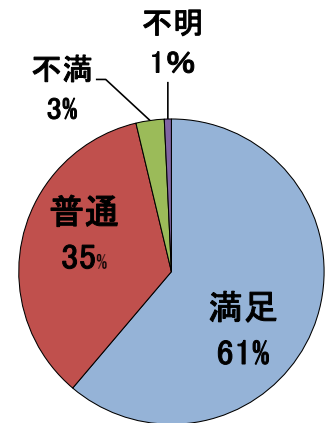
満足度61%と半数以上の方が満足されている。

前回に比べ9%上回った。満足と普通を合計すると96%と、不満を感じていない満足・普通の方の合計の割合は変わらないが、満足している方の割合は増え、満足度は上がった結果となっている。食材高騰の波は現在も大きく、主食である米の価格も上がったまま高止まりが続いているため、値の張る食材は軒並み使用頻度が減っている。その状況の中、利用者様からは「この味付けはおいしい。」「ほかのところより味が良い。」との声をよく聞く。その味付けの部分が満足度につながっているのではないだろうか。さらなる食費の値上がりも予想されるが味付けはもちろん見映えや彩り等も工夫し、一人でも多くの方に満足していただけるよう、一食一食を大切に食事を提供していく。

【不満の声】

- ◇朝夕豆腐だけでご飯が進まない。朝できれば卵と納豆3日ぐらい出してほしい。
- ◇味噌汁がしょっぱい
- ◇辛い物がある。
- ◇皆と同じ形のものが良い。
- ◇男性には量が少ない。特にパンの量が少ない。

普段の食事についての満足度



2、行事食（誕生日会献立、セレクト食、季節の献立・おやつ）についての満足度

	1F	2F+E棟	通所リハ	合計	比率	一昨年
満足	36	36	21	93	69%	66%
普通	9	23	6	38	28%	31%
不満	2	0	0	2	1%	1%
不明	1	0	0	1	1%	2%
合計	48	59	27	134	100%	-

今年も半数以上の方が満足と答えていただけており、

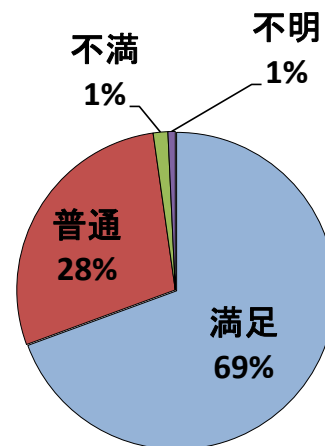
昨年より3ポイント上がり、69%もの方に満足いただけている結果となった。

行事食は特別感を出すために普段の食事では出せない値の張る食材を使用する機会が多い為、物価上昇の波がもろに影響してくる。今年度は前年度と比べ、刺身をネギト口に変更や枚数の制限、鯛等の高級なネタの使用制限、ウナギの使用頻度の減少やメニューの変更。断念せざるを得なかった事が多い。しかしながら満足度が上がったのは、豪華な食材を使えない分、色合いや盛り付け、メリハリのある味付け、二種盛り等アイデアで工夫した成果だと思う。これからも一人でも多く満足していただけるよう努めていく。

【不満の声】

- ◇ご飯が多い時がある。
- ◇品数がさみしい。
- ◇野菜が無くて・・・。

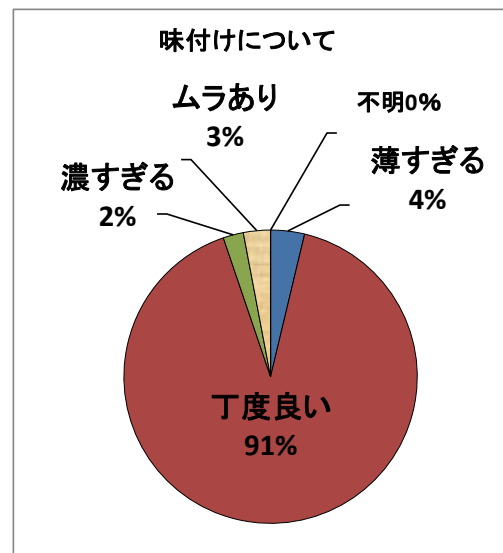
行事食についての満足度



3、味つけについて

	1F	2F+E棟	通所リハ	合計	比率	昨年
薄すぎる	0	1	4	5	4%	5%
丁度良い	43	57	22	122	91%	86%
濃すぎる	1	1	1	3	2%	2%
ムラがある	4	0	0	4	3%	8%
不明	0	0	0	0	0%	0%
—						—
合計	48	59	27	134	100%	

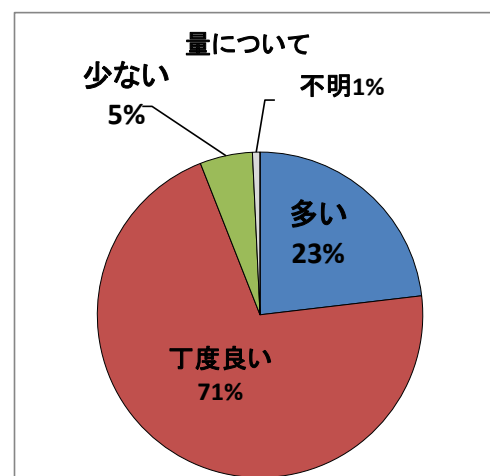
味つけについては、丁度良いと感じている方が91%で、これもまた前年度を上回る結果となった。薄すぎる、ムラがある等マイナス面での評価は減少しており、味への評価は改善している結果となった。味付けの好みは個人差があるため難しいが、さらにより多くの方が丁度良いと感じる味付けになるよう複数で味見をし、100%を目指していきたい。



4、量について

	1F	2F+E棟	通所リハ	合計	比率	昨年
多い	12	17	2	31	23%	11%
丁度良い	34	39	22	95	71%	85%
少ない	2	2	3	7	5%	3%
不明	0	1	0	1	1%	1%
—						—
合計	48	59	27	134	100%	

今年も半数以上の方が丁度よいと回答している。以前に比べ、多いと回答した方が6%増えた。丁度良いと回答した方が6%減少、少ないと回答した方が2%増えてはいるが、全体的に多く感じている方が増えた結果となった。ミールラウンドの際、添えや副菜が少なく感じる事が多々ある為、今回も前回と同様副食ではなく主食が多いと感じていると思われる。引き続き聞き取りを行い、出来る限り希望に沿った食事量の提供に努めていく。



5、希望する献立

《主食・主菜・副菜》	《その他》
1位 寿司	1位 果物
2位 魚料理	2位 あんこの入ったもの
3位 カレー、カツカレー	3位 煎餅

主食	副食 (主菜・副菜)	その他
寿司 (7) ちらし寿司 (1)	肉類 (1)	たい焼き (1)
海苔巻き (1)	刺身 (2) ハンバーグ (1)	甘い物 (2) 甘くないもの (1)
チャーハン (1)	ステーキ (1)	ケーキ (1)
カレー (2)	葉野菜 (1)	大福 (1)
炊き込みご飯 (1)	エビフライ (1)	甘納豆 (1) 炭酸ジュース (1)
カツ丼 (1) 親子丼 (1) 天丼 (1)	とんかつ (1)	季節の果物 (3.) りんご (1) なし (1)
スパゲッティー (1)	水餃子 (1)	もも (1) すいか (1) 柿
トマトラーメン (1)	煮物 (2) 納豆 (2)	歯ごたえのあるもの (1)
パン (2)	コーンポタージュ (2)	煎餅 (1) 甘い煎餅 (1)
カツカレー (3)	味噌汁 (1)	かりんとう (1) 餅 (1)
	さば (1) さけ (1) さんま (2)	コーヒー (2)
	まぐろ (1) 魚 (1)	栗 (1)
	漬物 (4) 酢の物 (1)	まんじゅう (2) 団子 (1)
	中華料理 (1)	カルピス (1)

6、その他、意見、要望など

《1F》

- 肉類もう少し食べたい。
- 納豆ととろろをもう少し回数を多く。
- 朝のスープはコーンポタージュにしてください（パン食の時）。
- お野菜が食べたい。歯ごたえがあるもの。パン食を増やしてほしい。
- 漬物が食べたい。ふつうの煮物が食べたい。

《2F》

- なんでも好きだよ。
- 何でもおいしくいただきます。味噌汁が好きです。
- 特にわからないけど美味しく食べてるよ。
- お饅頭が食べたい。
- なんでも食べます。
- 嫌いなものはない。
- せっかく出してくれるけど、たくさん食べられないだよ。
- お菓子がもっとたくさん食べられたらいいね、団子やまんじゅうとか・・・
- お寿司とか食べたいけどね。
- もう歳だもんであんまり食べられないだ・・・。
- いつも気を使っていたいて本当にありがとうございます。
- 言われてもすぐ出てこない。

《E棟》

- いつも美味しくいただいております。日々ありがとうございます。
- いつも献立そして食事をご用意くださりありがたくいただいております。
- 朝昼晩とお食事を美味しくいただいております。ありがとうございます。
- お食事美味しくいただいております。

《通所》

- 歩行訓練をしている事もあり、昼食の量が足りない。いつも思っているが、太っていることもあり、今まで言えなかった。
- 魚が苦手
- いつも美味しくいただいています。ありがとうございます。
- できればおやつのたい焼きなど大きい物出してほしい。
- ちらし寿司や炊き込みご飯をもっと出してほしい。
- 葉野菜（ほうれん草など）もう少し歯ざわりのある感じで食べたい。
- お吸い物や茶わん蒸しはとても美味しくいただいています。
- 生野菜サラダが食べたい。そういうのが少ない。レタスとキャベツ、人参の細切りにドレッシングをかけたやつ。

4 指定管理者による自己評価

令和7年度の 自己評価	<p>令和7年度も年度当初に施設運営目標を定め、目標達成に向け努力した。</p> <p><施設運営目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入所稼働率・通所利用率を100%に近づける。 2 可能な加算は全て算定する。 3 光熱水費など経費を削減する。 <p>施設利用状況は、入所利用は1日平均112.8人（稼働率94.8%）。前年度と比較し、平均利用者数で4.9人増であった（昨年稼働率90.7%）。通所利用では1日平均15.8人（利用63.2%）。前年度と比較し、平均利用者数1.2人減であった（昨年利用率67.9%）。</p> <p>入所利用については、稼働率95%を目標にベッドの空床を作らないよう努めてきたが、結果として94.8%と、もう一步達成には至らなかった。ご家族と看取りの契約を結び、ターミナルケアへ移行して施設で看取りをさせていただいた方は19名であった。令和6年度より協力医療機関と施設との連携協定を結んだ事により、入退院がスムーズに進むようになりベッド稼働にも効果が出ている。</p> <p>通所利用については、1日平均20人のご利用を目指してきたが、15.8人平均で終わった。新規利用者増が出来ても、在宅生活の維持が困難となり終了していくケースもあり、数字として結果を出すことが出来なかった。利用者を増やして安定した収入に結びつける事を令和8年度の一番の課題とする。</p> <p>可能な加算を算定していく事については、今年度、■排泄支援加算(Ⅰ)10単位/月、■高齢者施設等感染対策向上加算(Ⅰ)10単位/月、■生産性向上推進体制加算(Ⅱ)10単位/月を算定開始している。</p> <p>入所者様へのケアの質の向上、より安全な療養環境の構築、ICT機器導入による業務の効率化を図ることで職員が入所者様と直接関わる時間を十分に確保し、ケアの質の向上を目指すなど取り組みを始めた。</p> <p>令和7年度の経営状況を概略で見ると、収入が6億6,850万円、支出が6億4,070万円で、2,780万円の収益を得る事が出来た。その収益をすべて職員退職金積立へ回している。年度当初、約3,900万円の収益を目標に掲げ、退職金積立へ回せるようにと計画したが、目標を達成することはできなかった。</p>
要望・苦情への 対応状況	<p>ご利用者・ご家族様からの意見・要望・苦情については、利用開始時に、苦情対応窓口についての説明を実施している。施設内4か所にご意見箱の設置について・各市町村窓口・長野県国保団体連合会窓口等の説明を文書および口頭・張り出し文面で実施し、迅速かつ適切に対応できる体制を整えている。また、ご利用者がサービス利用時に何気なく発した言葉を聞き逃さずに「つぶやき・ささやき」シートを用意して、職員が記入して記録し、苦情まで行かなくても、こうして欲しいという要望も含めて迅速に対応するように心がけている。感染症予防のための面会制限も続いた時期もあり心配されたが、対面面会を行えるようになり、直接居室や食堂まで入っていただけるようになったことで、色々な心配事が解消出来た方もあり、また、逆に心配が増える場合もありうる事を踏まえ、ご家族には聞き取りを実施している。</p> <p>携帯電話等のモバイルツールを通しての交流も増加しており、要望や苦情もお聞きしやすくなっている。引き続き、ご意見や要望を頂きやすい環境づくりに努めていきます。</p>
今後の目標	<p>令和8年度の目標としてまずは、松本市の大事な社会資源としての施設のベッドや通所の利用率を無駄に空けておくことのないように、最低でも毎月の入所平均利用率95%維持、通所1日の利用人数平均18.9人維持を目標とする。その取り組みをすることによって、収入の安定にもつなげていきたい。</p> <p>支出面では、昨年にも増して厳しい社会情勢に左右される物価高騰に対して出来る限りの経費削減に努めたい。また、16社強の会社に業務委託している委託費の上昇が経費増大につながってきている。正社員に代わり派遣社員の採用について、委託業務の一つとして開始したことや食料費や人件費の値上げにより給食委託会社への支出が増えていることなど要因ともなっている。これら支出増に対しては、令和7年度末に物価高騰に対する業務継続のための補助金として、長野県と松本市に申請をしている。</p> <p>今後ともご利用者及びご家族からの意見に耳を傾けより良いサービスの提供に努めつつ、施設運営上、必要となる利用料の値上げ等についてはご理解をいただけるよう進めていきたい。</p> <p>119床満床を目指し、入所稼働率のアップ、通所リハビリの利用率向上について検討を重ね、利用料収入が増加するよう努力し、退職積立金・収益に結び付けたい。また、地域において、多職種が揃う介護の拠点として医療との連携を図りながら皆様に貢献できる施設であるための努力を惜しまない。</p>